



雪かき

寒波到来によって、北陸自動車道の敦賀～米原間や舞若道、8号線が一時不通となった2月20日前後の日。高浜でもそれなりの積雪があり、朝のあいさつ運動をしながら、校門付近や歩道の除雪をしていると、「雪かき、ありがとうございます」「朝からごろうさまです」と4年生以上の高学年が声をかけてくれました。普段のあいさつでは低学年の声の大きさに隠れているような高学年のこの声掛けがとてもうれしく感じられ、子どもたちは確実に育っているなと実感できた出来事でもありました。

ボランティア

2/15 には「ひなまつりボランティア」として、6名の子どもたちが文化会館でのひな人形飾りに参加しました。



ひなまつりボランティア

また、上述した先月の積雪時には、3年生以上の有志が登校後、自発的に雪かきをしてくれました。これも立派なボランティア。



雪かきボランティア

他にも児童会活動の運営委員会では、校歌を元気よく歌うために、みんなの前で大きな声で歌う「校歌ボランティア」を募ったところ、学年を問わず多数の子どもたちの参加がありました。

「教育」の変遷とともに

社会全体が成長期にあった学校現場では、「頑張れば良い結果が得られる。結果が出ないのは努力が足りない」という声かけにより、それなりの成果も見られ、『頑張れ』の動機づけが社会全体の了解事項でもあったように思います。

しかし、思うような経済成長や課題解決が容易ではない今日の状況は、頑張ればできるという価値観だけでは解決できない課題が見えてきます。また昨今、努力が報われにくいという判断から、確実に成果が得られることにしか取り組まないという現実があります。励ませば励ますほど失敗を避け、現実を直視することなく自分を守る姿勢が見え隠れします。それは同時に、「ほめて、励ませば育つ」という評価の転換を図るものかも知れません。

このような混沌とした社会において、子どもたちの生きる力を育むためには自らの役割と責任に気づくことができる体験により、『自分には現実を変える力がある』ことに気づくこと。そして、自らの言動には責任が伴うことを実感することが大切です。そこで、励まされることによってのみ行動するのではなく、自らの学びを生かすことで「果たすべき役割」に気づき、自ら判断し、実行に移すことを重視したいものです。

そう考えると…、『ボランティア』も有効な手段の一つであると実感したところでした。高浜中学校では『ハローボランティア』と称する取組があり、各種行事のボランティア活動に意欲的に参加している生徒が多数います。小中連携にもつながりますが、本校の子どもた

ちもそうした活動に自らの意思で前向きに参加・体験し、自分の存在価値を高めてくれることを期待しているところです。

2月の活動の様子

1年「むかし遊び」

2/18(火)

高浜老人クラブ連合会・保護者ボランティアのみなさん



読み聞かせボランティアのみなさん

2/5(水)・19(水)



2年 高浜中1年生との交流

2/14(金)



1・5年 新入学児童体験入学

2/14(金)



地域・保護者の皆さま、
2月もいろいろとお世話になり
ありがとうございました。



3月の主な行事予定

- 4日(火) 児童集会
- 5日(水) 読み聞かせボランティア
- 6日(木) クラブ〔最終〕
- 11日(火) PTA本部・常任委員会
- 12日(水) 卒業式予行
- 13日(木) 1～4・6年下校、5年下校(式場準備)
- 14日(金) 卒業証書授与式 9:00
- 19日(水) 読み聞かせボランティア〔最終〕
- 20日(木) 春分の日
- 21日(金) 通学班の会
- 24日(月) 修了式・離任式・集団下校
- 25日(火) 本日より学年末休業(3/31まで)
〔4/1～7までは「学年はじめ休業」〕

